

1. 事業の位置付け

事務事業名	交通バリアフリー促進事業		
事業担当	まちづくり政策部 まちづくり政策課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	02	② くまの顔 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	02	2 人々が憩えるゆとりとうるおいのある都市空間を創造する	
根拠法令等	交通バリアフリー法		
対象・受益者	市民	事業期間	平成17年度～平成18年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
公共交通機関を利用した移動の利便性・安全性が向上し、誰もが自立した日常生活をおくっています。		電車やバスなどを利用した移動の利便性や安全性の向上を図るため、交通バリアフリー基本構想に基づき整備を行う公共交通事業者、道路管理者、公安委員会などへ促進を働きかけます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	平塚市交通バリアフリー特定事業推進協議会開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1	1	1			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	特定事業達成度						単位	%
	説明・算定式	平成22年度を100%とした達成率。各事業者が計画する特定事業の達成率を評価。							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			25	50	75			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
平塚駅周辺のバリアフリー化事業の早期実現を図るため、各事業者や市民が参加する平塚市交通バリアフリー特定事業等推進協議会を開催し、事業の進行管理及び調整を行った。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	少子・高齢化の急激な進展などにより、だれもが楽に電車やバスに乗り降りでき、平塚駅から周辺の目的地まで安全に行き来ができるまちを実現することが課題となっており、必要性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民のニーズに合った効果的なバリアフリー化を促進することにより、安心・安全なまちづくりやまちの賑わいづくりに貢献する。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制（人員配置、業務分担） <input type="checkbox"/> その他	バリアフリー基本構想に定めた特定事業の完了を平成22年としており、効率的な推進を図るため、関係する事業者や管理者等との協議や調整を必要とする。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法（民活の余地、事業形態の検討） <input type="checkbox"/> その他	市民や関係する事業者等の意見や提案により、本市が策定したバリアフリー基本構想の促進は、本市の責務といえる。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 交通事業者、道路管理者及び公安委員会がそれぞれの実施計画に基づき、事業が推進できるよう進行管理に努める。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				推進協議会の開催	推進協議会の開催	推進協議会の開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.35	0.35	0.35	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	2,937	2,937	2,937	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	2,937	2,937	2,937	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 継続的なバリアフリー化の推進に向け、引き続き、交通バリアフリー特定事業等推進協議会を開催し、進行管理及び調整を行う。	
平成21年度の実行方針	
交通事業者、道路管理者及び公安委員会がそれぞれの実施計画に基づき、事業が推進できるよう協議、調整する。	
課長コメント	交通利便性や安全性の確保を図るため、交通事業者、道路管理者等関係団体との協議・調整を行い、交通バリアフリー化を推進していく必要があると考えます。